

# 「第11回男性介護者ケアの集い」ニュース



令和5年4月25日(火)「第11回男性介護者ケアの集い」を開催しました。今回、参加者の近況報告後に「認知症カフェ」について、佐世保市長寿社会課 認知症地域支援推進員の阿比留さんに佐世保市の取り組みを報告していただきました。佐世保の認知症カフェの見学報告後、佐々町でも認知症当事者や家族、住民の方が気軽に集える居場所を立ち上げることになりました。

## 参加者の近況報告

- ・妻が、突然家から行方不明になったり、通所時、他の利用者や職員に暴力を振るうようになった。自宅では、変わった様子はないが、普段の様子がごろっと変わることがある。病院受診を勧められ、3か月の入院となった。介護疲れと寝不足でサウナで寝込んでしまい、救急搬送された。検査の結果異常なしとのことでホッとしたが・・・
- ・妻が外に一人で出るので、危ないため、尾行していると怒りだす。外に出て戻ってこない時もあり、心配である。夜、寝るまでが大変。なかなか寝てくれない。日中も部屋を真っ暗にして過ごしている時もあった。
- ・妻がグループホームに入り、一人暮らしをしている。一人になるとだんだんと意欲がなくなり、掃除もしなくなった。近所の人がよく声をかけてくれるのは、ありがたい。
- ・母がなくなり、心の整理(遺品整理)をしている。和服をリメイクしてもらい、他の人が着てくれることがうれしい。
- ・認知症になることを極端に恐れている人が多い。いろいろと予防しても避けられない。それよりも認知症になっても受け止め合おうとお互いに話している。



## 講演「佐世保市の認知症カフェの活動について」 佐世保市長寿社会課 認知症地域支援推進員の阿比留浩美さん

- ・認知症カフェは、認知症の方への接し方や役に立つ情報を学ぶ場であり、家族同士で悩みを共有し、お互いにアドバイスをし合える場でもある。また専門家に気軽に相談もできる機会も大切。教科書から学べない貴重な情報をみんなで考える場として役に立つ。
- ・佐世保市では、6か所の認知症カフェを行っている。運営主体は、どこでも可能。認知症当事者や家族が中心に運営しており、住民や行政が支援する方法を続けている。
- ・「にじcafé」をご紹介。佐世保市下京町西海みずきビルにあり、第3火曜日14~16時に開催。佐世保市の脳活教室を卒業された方の参加が多く、このcaféで脳のトレーニングを積極的に行っている。また「こども食堂」と一緒に行くこともあり、子供の親が、自分の親と同じ世代の方と触れ合い、認知症の理解を深める機会として役に立っている。認知症の方をどのように支援すればいいかを考えがちであるが、まずその方ができる役割を考え、活躍できることを見つけることでその人を活かす活動が実践されている。当事者が参加者にお茶を入れたり、行事の準備を手伝うなど、できることをしてもらうことで人とのコミュニケーションの輪が広がっている。
- ・佐々町でも現在行っている活動、例えば、男性料理教室などとコラボして、交流を深めることも重要だと助言されました。



## 西風カフェを見学して

佐世保市船越町にある西風カフェは、九十九島の風光明媚な景色をバックに、満開の桜と色とりどりの花に囲まれたカレー専門店です。エプロン姿のKさん(80歳)は、ニコニコしながら私たちを歓迎してくれました。Kさんは妻と息子とカレー専門店を経営していましたが、心臓病の手術を契機にレビー小体型認知症になり、喋らなくなり家で閉じこもりの状態になったそうです。要介護1でデイサービスに通所開始。包括支援センターの働きかけで自分の店で月に1回の認知症カフェを開設。Kさんは、当事者や家族の方と接することで話す機会が増え、店の準備や接待など役割を持つことで認知症の症状は改善し、以前と同じように生き生きとされるようになったそうです。私たちもKさんと接して、認知症とは全く無縁のような表情やおもてなしに驚きました。本人ができる役割があることの大切さを感じました。奥様は夫の楽しそうな姿を見ながら、嬉しそうにされていました。奥様は、花を植えたり、漬物をつけたりと自分の楽しみも大切にしておられ、介護者にとって重要なことだと感じました。夫婦とも、笑顔で優しく包み込むような雰囲気は、認知症カフェに相談に来られる方や当事者にとって、元気を頂く場所にはなくてはならないものと感じました。佐々町にもこのような居場所を作りたいと思います。

## 佐々町のカフェの立ち上げについて

佐々町でも認知症や高次脳機能障害の方同士の交流する場、また家族や地域住民、医療の専門職などが気軽に集える場を立ち上げます。

名称「梅松(うめまつ)カフェ」

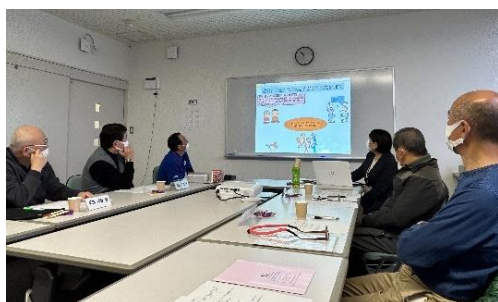
日時：6月1日(木) 13時~15時にオープン。毎月第1木曜日に開催

場所：福祉センター1階 多世代交流スペース

内容：お茶やコーヒーなど飲み物を飲みながら、自由にお話をする場です。

出入りは自由でお金はかかりません。気軽に参加してください。カフェのお手伝いをするボランティアも募集しています。

梅松  
カフェ



集いの様子

## 次回の集いのお知らせ

日時：6月27日(火) 10時から12時

場所：健康相談センター

今回は、佐々町で立ち上げた『梅松(うめまつ)カフェ』の報告をさせていただきます。初めての方も気軽にご参加ください。

## 編集後記

認知症や障がい者、家族、住民が気軽に集える場ができることをワクワクしています。佐々町の人々が、認知症や障がいをもってみんなが理解し、支えあう優しい町に近づけるよう、皆さんと取り組みを進めていきたいと思っています。